

年内収穫が可能な中晩生カンキツ 新品種「はれひめ」「津之望」

【背景・目的・成果】 淡路地域で主に栽培されている高糖度で良食味な中晩生カンキツ「不知火」は、近年の生産量の増加や、減酸遅れによる品質の不安定さにより、価格が低迷しています。そこで、収穫期が早い新品種「はれひめ」と「津之望」の果実品質を調査した結果、淡路地域では年内収穫が可能で、食味も良いことがわかりました。



「はれひめ」

【特徴】

- ・減酸が早く、成熟期は12月上中旬。
- ・皮は厚いが軟らかく、剥きやすい。
- ・じょうのう膜は薄くて食べやすい。

【注意点】

- ・生理落果が多い。
- ・糖度がやや低く、食味が淡泊になることがある。



「津之望(つなのぞみ)」

【特徴】

- ・減酸が早く、成熟期は12月上中旬。
- ・じょうのう膜は比較的薄くて食べやすい。
- ・糖度が高く、食味は濃厚。

【注意点】

- ・着果過多による樹勢低下を起こすことがある。

表 果実品質調査結果（淡路農技、2010年度）

品 種	樹 齢	収穫日 (月/日)	果実 重	果形			着色 度	果肉 歩合	糖度 (Brix)	クエン 酸含量	糖酸 比
				横経 mm	縦経 mm	指数					
はれひめ	9	12/21	236.3	85.0	73.3	116	9.8	64.5	10.1	0.72	14.0
津之望	7	12/21	229.8	82.5	66.6	124	10.0	72.7	12.5	0.70	17.9
不知火	8	2/9	280.1	85.4	85.3	100	9.8	71.1	13.2	1.44	9.2

注) 着色度は無着色を0、完全着色を10として11段階で評価した。

津之望：甘夏台、高接ぎ7年目。

【技術の活用】

- 1 「はれひめ」は生理落果が多いため、花に光が当たるように枝梢管理を行い、着果を安定させる必要があります。また糖度を上げるためには、摘果を遅らせて果実肥大を抑える小果生産や高畝栽培等により樹体に水分ストレスをかけるといった品質向上対策が有効です。
- 2 「津之望」は着果過多による樹勢低下が発生することがあるため、摘果を十分行い、適切な着果管理を行う必要があります。
- 3 両品種とも、これまで栽培が行われていなかった、年内収穫が可能な中晩生カンキツとして、淡路地域での導入が可能です。